

平成29年度 学力向上アクションプラン

A票

南武庫之荘中

学校

学力調査結果等から見た 学力向上についての課題	課題解決に向けた学校の取組(基礎力の定着、活用力の育成)			本年度の具体的な目標
	授業力向上への取組	学習習慣定着に向けた取組	その他の取組	
○全国調査の結果からみられる課題 (1) 学力調査 H28の結果では、国語A、数学A・Bにおいて全国を上回っていた。国語Bで全国との差は1ポイントであるが、上位層が少なくなっていた。また、B問題において苦手意識を持つ者が見られ、活用力の育成について、より一層の研究が必要となっている。 (2) 質問紙調査 H28の結果では、「主体的・協働的な活動を取り入れた授業」、「めあての提示」については全国平均を上回っていたが、読書習慣については課題が見られた。また、宿題への取り組みについて90%を超えているが、「計画を立てて学習に取り組む」、「復習をする」では40%台にとどまっており、今後の課題である。 ○学校評価アンケートからみられる課題 どの教科にも集中して取り組んでいると回答した割合(73%)となっており、前年度より4ポイント下回る。	○学識経験者を招聘して、コミュニケーションを重視した授業についての研鑽を深める【(1)アクティブ・ラーニング報償費を活用】 ○大学から指導助言者を招聘して、アクティブ・ラーニングを効果的に行うための実践指導と学習評価についての研鑽を深める【(1)アクティブ・ラーニング報償費を活用】 ○先進校における取組内容の検証による授業力向上(アクティブ・ラーニングにおけるICT機器の効果的な活用)【(1)アクティブ・ラーニング旅費を活用】 ○NIEを活用した言語活動の充実と学びあいの場の構築【(5)学力定着支援を活用】	○放課後学習支援・夏季休業中の学習支援を実施し、個々の能力に応じた課題学習への支援を行い家庭学習と自ら学習に取り組む習慣の定着に繋げる【(4)放課後等学習支援を活用】 ○グループ学習を効果的に行うための従来から使用しているまなボードに加え、方眼付ホワイトボードを活用する【(1)アクティブ・ラーニング需用費を活用】 ○国語の授業における同室複数指導による、主体的、対話的な深い学習への支援【(1)アクティブ・ラーニング指導補助嘱託員を活用】 ○各教科における課題作成と学習指導【(5)学力定着支援を活用】 ○家庭学習の重要性を啓発する教育相談の実施	○ICTを活用した分かりやすい授業づくり ○各教科において、「考えを深め」「発表する」「書く」等の言語活動を充実させ、思考力・判断力・表現力の育成を図る 【(5)学力定着支援を活用】 ○図書室を活用し、主体的・意欲的な学習活動を広げる	○ 全国学力・学習状況調査 (1) 学力調査 全教科において、平均正答率の全国平均+1ポイント以上をめざす。 (2) 質問紙調査 規範意識、生活習慣、学習習慣に関する項目において、全国平均を上回る。(逆転項目においては、全国平均を下回る) 「自分で計画を立てて勉強をしている」「授業の復習をしている」については、肯定的回答が50%を上回る。 ○学校評価アンケート 質問項目「国語の内容がよくわかる」、「どの教科にも集中して取り組んでいる」、「宿題を必ずしている」において、いずれも肯定的な回答が80%を越える。

校種間連携	活用する支援内容		家庭・地域との連携
	支援内容	具体的内容	
○小から中への円滑な接続を図るための連携の推進 ○夏季合同研修会の実施(小中共同の学力向上への取り組みの検討) ○入学前テストの検証を踏まえた小中の学習状況についての情報交換 ○小学校の学力向上に対する取組実践の応用と展開 ○支援が必要な生徒に対する情報交換と支援の接続 ○異校種交流研修における小学校での授業参観とゲストティーチャーによる研修の実施	(1)アクティブ・ラーニング推進支援 (2)先進校視察支援 (4)放課後等学習支援 (5)学力定着支援	コミュニケーションを重視した授業についての研修(学識経験者2回) アクティブ・ラーニングの教育評価についての研修(学識経験者2回) アクティブ・ラーニングを効果的に行うための実践指導(学識経験者1回) 方眼付のホワイトボードを活用した効率の良い、グループディスカッションやプレゼン・発表の実施 教員の研修のための書籍の購入 板橋区立中台中学校視察(アクティブ・ラーニングにおけるICT機器の効果的な活用) 月曜サテライト(全学年対象、年間25回の予定) 水・金放課後学習(3年対象、2学期後半から実施、25回の予定) 夏季休業中の学習支援(10回の予定) 学習習慣定着のための教材及び資料作成 授業研究に役立つ文献の活用 NIE学習を行い言語力を向上させ総合的な理解力、応用力の育成 各教科の研究大会への参加費	○学力向上アクションプランの明示 ○学力調査結果の公表 ○地域人材の図書ボランティア及び放課後学習等への活用 ○保護者懇談会の充実 ○オープンスクールでの保護者・地域の方々に対する授業公開 ○地域と連携した参加型体験学習